

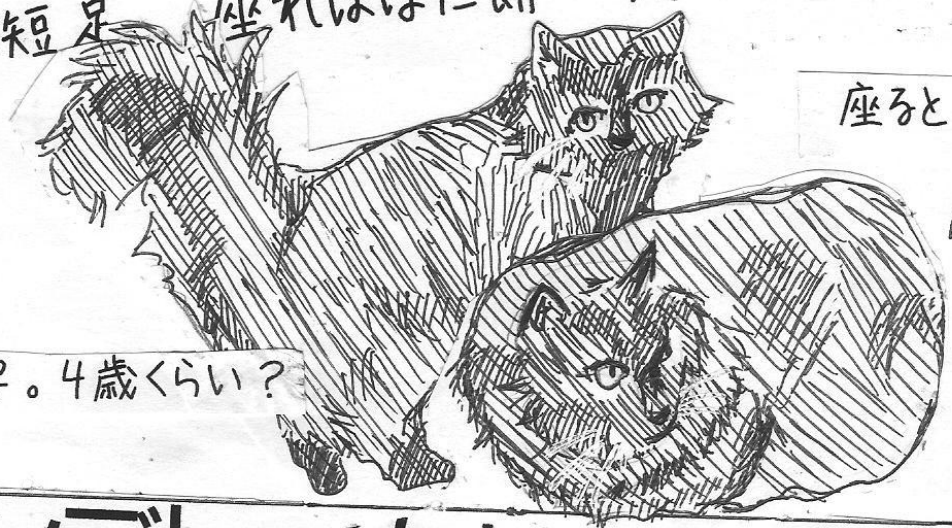
昔はツン・デレと呼ばれていた。
でも両方でれになってしまったので今はもじゃ・もじゃと呼ばれている。
1匹で、もじゃ。2匹でもじゃもじゃ。

廊下を歩いているとよく足下にすり寄ってくる。
が、なでるとひっかいてくる。
つまり、両方ともツンデレなのである。

黒猫TWINS。見分けがつかない。
が、2匹同時に見かけることは殆どないので問題無い。

見分ける方法は尻尾、らしいが...?

「立てば短足 座ればぼた餅 走る姿は豆ダヌキ」



座ると巨大。

両方♀。4歳くらい?

ツンデレ / もじゃもじゃ

しっぽがふっさふさ。
毛並みがとても長い。 南寮 ~ 中寮でよく見かける。
中寮裏でよく日向ぼっこをしている。

ずんぐりむっくりしている。
両方、真っ黒。目は黄色。

吉田寮木の罫鑑

文と絵: JS こねこねこねこね

ねこねこ

吉田寮には沢山の猫が居ます。
寮生が飼っているのもいれば、ノラねこもいたり様々。
全部で何匹いるんだろう？
多分、正確な数はだれも把握してないんじゃないかな。
ここでは、メジャーな猫6匹をご紹介します。

猫は、人々がシャワー待ちや会議や休息をする事務室や受付、さらには庭や廊下や、様々な所をうろついています。
日当りの良いところや暖かい場所にはよくいるな、やっぱり。
そんなわけで、寮生にとって猫はかなり身近な存在になるので、動物ギライだったが好きになった、とか、犬の方が好きだったけどやっぱりネコだと思ってしまうようになった、とか、けどでもやっぱりネコ好き、とか、どうでもいい、とか、いろんな人がいます。
でもやっぱり、暖かいところには(特に冬とか)猫も人も集まるもので、一緒のコタツやヒーターで暖まるもの同士、もし貴方が吉田寮に入ったら、是非仲良くして欲しいなあ。

寮の事務員さんがお世話している猫。寮内で2番目に年長。

たいていの寮生より長く寮に住んでいる。

背筋を伸ばして佇んでいることの多い物静かな猫だが、いざというときは強い。

水は、蛇口から流れる新鮮なお水しか口にしない。

くろさま。

寮生から敬愛されていける。

女王様。ツンデレの具本。

撫でようとすると避けられ、しつこくはないという風に撫でてさせてくれる。寒い時期には日差し人の膝の上におり、暖をとる。

その暖気つけたツンデレと溢れる気品に、ワロタキを特別視する寮生も。

黒猫、目は緑。
毛の根元が白い。



ねこ

こねこ

一番新着者の猫だが、
共有スペース、北寮・中寮・南寮のほとんど
に出没するせいであつかり寮のメジロ猫に
吉田南構内で見かけたとか、
東一条の交差点で迷子になつていて
のを保護したとか。
(種か範囲やなにか狭いのか
分かんない。)

本当にこんなからりで
寝るのである。

推定2歳、♂
茶トラで目は黄色。



何を言っても殆ど「怒らない」。
最近は何語りの境地に達して
かめ表情を見せるとも。
しげな頃から寮主に
弄ばれて可哀想だろうか。
額には「M」の模様。
これが寮生のふじに刺激するの
だろうか...



ただの紐をたよにかの生き物だと思つて
攻撃しつづけろ、お手本のような猫。
とても猫らしい事で「にゃ」→「て」よく。

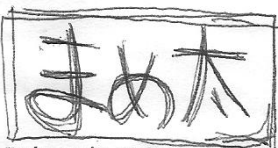
寮猫には完全に首輪をしている。

私は写真を撮ったり絵を描いたりするのが好きで、
よく寮内のいろんなところでやつらと出会うと狙つてみたりするけれど、
被写体としてもなかなか良いやつらです。
私のカメラか腕が悪いのか、猫を相手にするとたいがいブレブレな写真に
なってしまうけど...

ここにかいたイセイも、「ちびちび」とか「とこてん」とか
呼びかけている猫が居るようだ。さらに寮裏にももっと猫がいたりする。

生まれときは人なつこからなのに、
今はたまにしか姿を見せない。
根はせんちゃ坊主。
もじやの子供。白に黒ふち。
ハチワレの容顔が特徴。
毛並みが良い。中庭によく出沒。

Special thanks to
: K&. T&. しがらみ



こねこねこねこねこねこねこねこねこねこねこねこねこねこねこねこねこ